

【母島リサイクルステーション】はじめます！

母島支所入口で回収している牛乳パックに加え、「プラスチック製容器包装」の回収を開始します。限られた資源を再利用(リサイクル)するため、ご協力いただける方はぜひ母島支所入口に設置してある回収ボックスに持ち込みをお願いします。

また、今後は本回収場所を【母島リサイクルステーション】とします。回収品目も今後増やす予定です。

プラスチック製容器包装

◎商品を入れていたプラスチック製の容器や包装物です。

プラマークがあるものが対象です！ →



◎対象品目（全品目、汚れてない・臭いのないもののみです！）

食品のカップ・容器・パック・トレイ、化粧品や日用品などのケースやパック、菓子などの外装フィルム、パンなどの袋や包み、洗剤・シャンプーなどのボトル、調味料などのボトル、ペットボトルのラベル、ペットボトルのキャップ（キャップのみ別の回収容器を設置してあります）、他

※ペットボトル本体はごみ収集（水曜・青カゴ）に出して下さい。



※お願い※

持ち込みできるものは汚れてない・臭いのないもののみです！汚れているものや臭いが取れないものは持ち込みできません。通常のごみ収集で「焼却ごみ」としてお出し下さい。洗剤で洗っていただく必要はありません。

【汚れているもの】



容器包装以外のプラスチック製品は「焼却ごみ」や「粗大ごみ」で出してください。



Q&A

Q なぜ容器包装プラスチックの回収をするの？

A 日々皆さんの家庭から出るごみは、4人家族なら毎日3kg程度が出ています。そして、家庭から出るごみの容積は、6割程度がいわゆる容器包装ごみ、入れるものや包むものとして使われたごみです。容器包装ごみは資源として再利用できるものが多く含まれています。再資源化可能な容器包装ごみを「キッチンと分ける」ことでリサイクルを可能にし、結果としてごみの量を減らし、焼却施設(焼却炉)や最終処分場の延命を図ることができるのです。

Q なぜ汚れているものや臭いがするものは持ち込めないの？

A 容器包装プラスチックのリサイクル(再資源化)は品質が命です。汚れているもの、臭いがするものはリサイクルできませんので、混入していると回収後手作業で分け、「焼却ごみ」に回す必要があります。水で軽く洗う程度で汚れや臭いが取れるものは、洗った後に持ち込みください。それでも汚れや臭いが残っているものは、迷わず「焼却ごみ」にしてください。

Q なぜ通常のごみ収集の中で回収しないの？

A 容器包装プラスチックはその形状から軽くて小さな品目が多いです。これをごみステーションにおいて、例えばカゴ等で回収するには飛散防止等の措置が必要となります。ごみ袋に入れて出すと「焼却ごみ」との区別が難しくなります。また品質保持の観点からも、ステーション回収はそぐわないと判断しました。ご面倒をお掛けしますが、ご協力いただける方は【母島リサイクルステーション】まで持ち込みをお願いします。

Q これからはごみ収集に出したらダメなの？全部分けて持っていかなきゃダメ？

A 通常ごみ収集の「焼却ごみ」に容器包装プラスチックが混入していても収集します。取り残し等はしません。容器包装プラスチックの分別・持ち込みをどこまでやるかは、ご自身やご家庭で判断いただき、無理なく、できる範囲でご協力ください。

Q 他のプラスチック製品はなんで回収しないの？

A 一口にプラスチックといっても様々な樹脂があります。リサイクルは品質が命です。容器包装以外のプラスチックが混入すると、その後のリサイクルができなくなることがあります。他のプラスチック製品はこれまでどおり「焼却ごみ」で出してください。但し、一部の製品(硬質)プラスチックについては、今後分別回収を検討中です。決まり次第お知らせします。

Q 持ち込んだ容器包装プラスチックはその後どうリサイクルされるの？

A 回収後は父島に運び圧縮等された後、内地のリサイクル業者に送ります。その後、破碎その他の処理をし、プラスチック製品(例:運搬用のパレット・車止め・杭など)の原材料や、鉄・化学薬品をつくる工場で使われる原料等に利用されます。

まずは無理なくできるところから始めてみましょう。分別でわからないことがあれば、母島支所までお問い合わせください。ご協力の程よろしく申し上げます。

混ぜれば「ごみ」分ければ「資源」